

### 家族の節目や記念日に会食、宿泊

# 「新たな誓い」に商機

夫婦が絆を再確認するために開く欧米発祥のセレモニー「パウリニユーアル」(新たな誓い)が、ホテルや結婚式場の注目を集めている。日本では本来の目的に加え、家族の節目や記念日も対象に広がっていることから、チャペルや宴会場の利用を見込めるためだ。結婚式の挙式件数が減る中、新たな需要を取り込もうとさまざまなサービスが登場している。

## 京のホテル・式場

## 「挙式減、新たな需要」

ホテルグランヴィア京都(京都市下京区)は、2月に「パウリニユーアルプラン」の販売を始めた。チャペルでのセレモニーと会食が基本プランで、写真撮影や衣装、宿泊など

がオプションで追加できる。記念日を祝う夫婦のほか、卒業式や成人式、定年退職などの節目での利用も想定。演出はウエディング部門のスタッフが手掛ける。価格は6人で16万円から。

プランを企画した背景には、ウエディング需要の低迷がある。同ホテルの取り扱い挙式数はピークだった2003年度の812件から、16年度に412件とほぼ半減。若年人口の減少に加え、独身者や結婚式を行わない「ナシ婚」の増加が拍車を掛けている。広報担当者は「家族行事に対応するためのビジネスチャンスが広がる」と話し、本年度60件の利用を目標に掲げる。

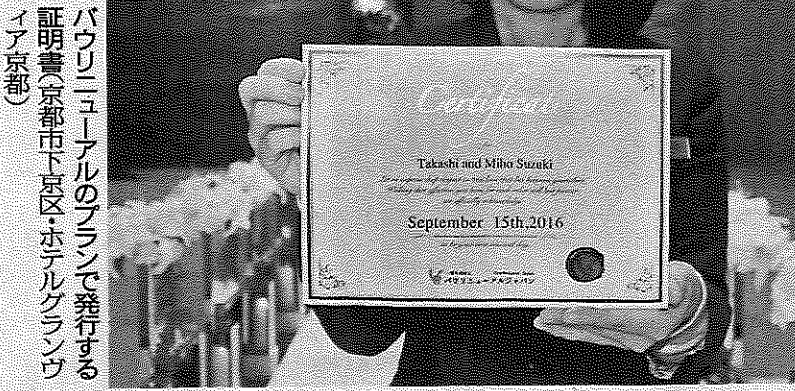
13年に設立された一般社団法人パウリニユーアルジャパン(東京)によると、パウリニユーアルは1900年代に欧州や米国でキリスト教儀式の一環として始まったという。日本でも特別な体験に価値を見出す「コト消費」の流行から、この10年ほどの間に注目が高まった。

同法人では現在、ホテルグランヴィア京都を含む全国のホテルや式場など20社と契約、セレモニーを行った参加者に対し、誓いを新たにしたい記念日「パウリニユーアルデー」の証明書を交付している。これまでに約600枚を発行したという。

本原亜沙子代表理事は「結婚した当時に式を挙げられなかった両親に子どもが贈ったり、還暦や古希など長寿のお祝いをしたりとケースはさまざま。日本文化に合った形で広がっている」と語る。

京都高島屋(下京区)では今年、初売りの福袋の一つにフォーシーズホテル京都(東山区)で3月にパウリニユーアルが挙げられる企画を用意。39組の応募があった。当選した会社員の吉田久美子さん(39)は大阪府東大阪市で「初売りで見かけて、軽い気持ちで応募した」と話す。夫(41)とは結婚12年目で、「彼は恥ずかしがっているが、いい記念になりそう。結婚式には居なかった小学生の子ども2人が参加できるのもうれしい」と心待ちにする。

京都ではほかにも、結婚式場の運営会社スタイルズ(東京)の式場「Kiyomizujyudo京都東山」(東山区)や、ワタベウエディングもプランを販売。パウリニユーアルの浸透を図っている。(合野表)



パウリニユーアルのプランで発行する証明書(京都市下京区・ホテルグランヴィア京都)

## 5Gの開発

### 携帯見本市の



【バルセロナ共同】 関連各社スペイン・バルセロナに、第5世代開催中の携帯端末見本市「モバイル・ワールド・コンgres」(MWC)で世界の通信体は201

ペットボトルコーヒー

ふた付きで飲み